

市立病院のあり方検討会議について

1 目 的

本市では、平成27年3月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン（概要は別紙1参照）」に基づき、平成28年度中に「新公立病院改革プラン」を策定することとしている。

この「新公立病院改革プラン」の策定にあたり、今後の市立病院のあり方等を含めて幅広く検討するため、各界の有識者で構成する「市立病院のあり方検討会議」を開催する。

2 構成員

別紙2のとおり

3 検討議題

- (1) 新公立病院改革プランに関すること
- (2) その他市立病院に関すること

4 今後の予定

平成27年 8月4日 第1回会議の開催
以降、平成28年度末まで7回程度開催予定
平成29年 3月 新公立病院改革プランの策定

<第1回会議について>

開催日時 平成27年8月4日（金）15時30分～17時
開催場所 北九州国際展示場・AIMビル3階 314・315会議室
（北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号）
検討議題 市立病院の概要について 他
その他 会議は公開とする ※報道機関の撮影は冒頭のみ

新公立病院改革ガイドラインの概要

公立病院改革の推進のため、平成27年3月31日に総務省が地方公共団体に示した「新公立病院改革ガイドライン」の概要は以下のとおり。

1 新公立病院改革ガイドライン策定の背景

少子高齢化が進展し、医療需要の変化が見込まれる中、地域ごとに適切な医療提供体制を構築するため、引き続き公立病院改革を継続する必要があること。

公立病院改革は、今後、医療法に基づいて都道府県が策定する「地域医療構想」と整合的に行われる必要があること。

2 地方公共団体による新公立病院改革プランの策定

(1) 新改革プランの策定期間

都道府県の地域医療構想を踏まえ、平成27年度または平成28年度中に策定

(2) 新改革プランの対象期間

策定年度またはその次年度から平成32年度まで

(3) 新改革プランに記載する内容

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

- ・地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

②経営の効率化

- ・黒字化を目指して経営収支比率等の数値目標を設定し、経営を効率化
- ・医師等の人材確保に留意し、経費削減、収入増加等の取組みを明記

③再編・ネットワーク化に係る取組み

- ・重複・競合が見られる病院等の再編・ネットワーク化の推進を明記

④経営形態の見直し

- ・民間の経営手法（地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度導入、民間譲渡）の導入に向けた経営形態の見直しの取組みを明記。

3 都道府県の役割の強化

- ・都道府県は、医療介護総合確保推進法に基づき、地域医療構想の実現に向けた取組みとも連携しつつ、再編・ネットワーク化等に積極的に参画
- ・管内の公立病院施設の新設・建替等に当たり都道府県のチェック機能を強化

(別紙2)

市立病院のあり方検討会議 構成員名簿

(50音順、敬称略)

氏名	所属等
おの はるお 小野 春夫	北九州市薬剤師会 会長
こまつ けいこ 小松 啓子	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長 福岡県立大学 名誉教授
こんどう みちあき 近藤 倫明	北九州市立大学 学長
ごんどう きみえ 権頭 喜美恵	社会福祉法人もやい聖友会 理事長
さた たけよし 佐多 竹良	産業医科大学病院 病院長
しもこうべ ともひさ 下河邊 智久	北九州市医師会 会長
はなおか なつこ 花岡 夏子	福岡県看護協会 会長
はらだ ともこ 原田 友子	乳がん患者会あすかの会 会長
ひらた くみこ 平田 久美子	子育て支援団体戸畑ちょうちんママ 代表 戸畑区親子ふれあいルーム 代表
むらかみ ともこ 村上 知子	村上公認会計士事務所 公認会計士